

## 主日礼拝

2026年1月25日  
午前10時30分

## 前奏

## 参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「一生の間、あなたの行く手に立ちはだかる者はないであらう。わたしはモーセと共にいたように、あなたと共にいる。あなたを見放すことも、見捨てることもない。」  
(ヨシュア1:5)

## 頌栄 27 「父・子・聖霊」



## 交読詩編 30:1~6

司式者：主よ、あなたをあがめます。

会 衆：あなたは敵を喜ばせることなく  
わたしを引き上げてくださいました。

司式者：わたしの神、主よ、叫び求めるわたしを

会 衆：あなたは癒してくださいました。

司式者：主よ、あなたはわたしの魂を陰府から引き上げ

会 衆：墓穴に下ることを免れさせ

一緒に：わたしに命を得させてくださいました。

司式者：主の慈しみに生きる人々よ

会 衆：主に賛美の歌をうたい

一緒に：聖なる御名を唱え、感謝をささげよ。

司式者：ひととき、お怒りになっても

会 衆：命を得させることを御旨としてくださる。

司式者：泣きながら夜を過ごす人にも

会 衆：喜びの歌と共に朝を迎えさせてくださる。

## 賛美 18-1,2 「心を高くあげよ!」

"Lift up your hearts!" we lift them, Lord, to Thee  
詞：Henry M. Butler, 1833-1918

SURSUM CORDA  
曲：Alfred M. Smith, 1879-1971



1 「こころを<sup>たか</sup>くあげよ!」 2 <sup>きり</sup>のよう なうれいも、  
<sup>し</sup>主のみ<sup>こ</sup>えにしたがい、 やみのよう な<sup>おそ</sup>れも、  
ただ主<sup>し</sup>のみを<sup>み</sup>あげて、 み<sup>な</sup>うしろに<sup>あ</sup>げすて、  
こころを<sup>たか</sup>くあげよう。 こころを<sup>たか</sup>くあげよう。

## 祈祷

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。  
み国を来させたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 賛美 32 「キリエ・エレイソン」



キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン  
主よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを

## 聖書 マルコによる福音書 1:21~28 新約(新共同訳) p62

21 一行はカファルナウムに着いた。イエスは、安息日に会堂に入って教え始められた。22 人々はその教えに非常に驚いた。律法学者のようにではなく、権威ある者としてお教えになったからである。23 そのとき、この会堂に汚れた霊に取りつかれた男がいて叫んだ。24 「ナザレのイエス、かまわな

いでくれ。我々を滅ぼしに来たのか。正体は分かっている。神の聖者だ。」25 イエスが、「黙れ。この人から出て行け」とお叱りになると、26 汚れた霊はその人にけいれんを起こさせ、大声をあげて出て行った。27 人々は皆驚いて、論じ合った。「これはいったいどういうことなのだ。権威ある新しい教えだ。この人が汚れた霊に命じると、その言うことを聴く。」28 イエスの評判は、たちまちガラヤ地方の隅々にまで広まった。

## 賛美 432 「重荷を負う者」

I heard the voice of Jesus say  
詞：Horatius Bonar, 1808—1889

KINGSFOLD  
曲：イギリス伝統旋律



1 「お- も に を お う も の、ま- よ う も- の よ、  
2 「か- わ い て い る も の、つ- か れ た- も の、  
3 「こ- の 世 の つ と め に な- や む も- の よ、

だ- れ で も き な さ い、た- め ら わ- ず に。  
だ- れ で も き な さ い、た- め ら わ- ず に。  
だ- れ で も き な さ い、た- め ら わ- ず に。

ま- ね き に- し た が い わ- た し- は ゆ く。  
い- の ち の- 主 イエ ス に わ- た し- は ゆ く。  
ひ- かり の- 主 イエ ス に わ- た し- は ゆ く。

な- ぐ さ め- と- へ い わ う- け る た- め に。  
生- き た そ- の- み ず を の- み ほ す- た め。  
お- わ り ま- で- と も に あ- ゆ む た- め に。

- 1 「重荷を負う者、迷う者よ、  
誰でも来なさい、ためらわずに」。  
招きに従い 私は行く。  
慰めと平和 受けるために。
- 2 「渴いている者、疲れた者よ  
誰でも来なさい、ためらわずに」。  
いのちの主イエスに 私は行く。  
生きたその水を 飲みほすため。
- 3 「この世の務めに、悩む者よ、  
誰でも来なさい、ためらわずに」。  
光の主イエスに 私は行く。  
終わりまで共に 歩むために。

## 説教 「イエスさまの権威ある教え」

## 賛美 419 「さあ、共に生きよう」

Damit aus Fremden Freunde werden  
詞：Rolf Schweizer, 1936—

DAMIT AUS FREMDEN FREUNDE WERDEN  
曲：Rolf Schweizer, 1936—



1. さ あ と も に い き よ う しゅ は こ の じ だ い の  
2. さ あ と も に い き よ う しゅ は ち を お と ず れ て  
3. さ あ と も に い き よ う しゅ は い の ち か け て  
4. さ あ と も に い き よ う しゅ は う え た も の に  
5. さ あ と も に い き よ う しゅ は せ い れ い に よ り

く る し み と な や み を に な っ て く だ さ る  
ひ と び と と で あ わ れ き よ う だ い と な っ た  
あ た ら し い じ ゅ う の み ち を し め さ れ た  
そ の み を パ ン と し て あ た え て く だ さ る  
わ か た れ た た み を も ひ と つ と な さ れ る

- 1 さあ、ともに生きよう。  
主はこの時代の  
苦しみと悩みを  
になってくださる。
- 2 さあ、ともに生きよう。  
主は地をおとずれ、  
人びとと出會われ、  
きょうだいとなった。
- 3 さあ、ともに生きよう。  
主は命をかけて、  
新しい自由の  
道をしめされた。
- 4 さあ、ともに生きよう。  
主はうえた者に  
その身をパンとして  
あたえてくださる。
- 5 さあ、ともに生きよう。  
主は聖靈により、  
分かれた民をも  
ひとつとなされる。

## 派遣

- 司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」
- 会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

## 祝祷

## アーメン



アーメン アーメン アーメン

## 後奏

- 司式 山野上 純子  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 大代 恵